



はら ゆうじ

原 祐二

准教授

所属

システム工学部

出身地

東京都町田市

出身校

- 東京大学
- 東京大学大学院

趣味

空鉄(ドローンでの鉄道撮影、特に貨物)、
弓道(弓術部出身)

研究テーマ(専門分野)

地理学、ランドスケープ保全、人新世人工地形学、農業遺産

研究概要

長年アジアの都市郊外の都市農村混在地域における生態系保全をテーマとしてきました。比較視座としてオランダやスイス、アメリカの都市近郊農業の現地駐在研究も経ました。2009年に東京から和歌山に着任、地元和泉山脈の切盛土地造成のエネルギー評価や、紀伊半島の歴史地理的研究、ランドスケープ動態の研究を行ってきました。最近では世界・日本農業遺産に国際対応など色々関わらせていただき、梅システムの現地公開講座も担当しております。地元から色々学ばせていただける和歌山のみなさん、環境に感謝しています。

主な研究業績(論文や著書)

論文:「みなべ・田辺の梅システムーそのランドスケープの特徴と動的保全に向けた取り組みー」

「有田川中流域における1953年大縮尺空中写真を用いた棚田データの作製と現状土地被覆間の空間解析」

「Dynamic wetland mosaic environments and Asian openbill habitat creation in peri-urban Bangkok」

「Assessing urban agriculture potential: A comparative study of Osaka, Japan and New York City, United States」

「屋上菜園の開設プロセスと農的機能に関する研究」

主な社会貢献活動(各種委員会委員)

- みなべ田辺地域世界農業遺産推進協議会 有識者
- 高野山・有田川流域世界農業遺産推進協議会 有識者
- 下津蔵出しみかんシステム日本農業遺産推進協議会 有識者
- 地理空間情報活用推進に関する近畿地区産学官連携協議会委員
- 岸和田市環境審議会委員

メッセージ

地域の皆さんとの協同は中心的なテーマだとは思いますが、大学研究者としての最大の独自社会還元・貢献は、国際的な論文として地元知を世界に科学的に発信することと考えています。